

第5次佐倉市総合計画 中期基本計画  
策定に当たっての市民意見交換会報告書



しりあぶりねこ©佐倉市

令和5年3月  
佐倉市

## 【 はじめに 】

佐倉市は、昭和 49 年度の第 1 次佐倉市総合計画策定以来、歴史、自然、文化に恵まれた地域性に重きを置きながら、まちづくりを進めてきました。令和 2 年度に開始した第 5 次佐倉市総合計画において、佐倉市は「笑顔輝き 佐倉咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」を将来都市像に掲げ、市民一人ひとりの「佐倉への思い」がかたちになるよう、様々な取組を進めています。

第 5 次佐倉市総合計画は令和 2 年度～13 年度までの 12 年間で計画期間としており、その中間である令和 6 年度～9 年度を計画期間とする「中期基本計画」について、令和 5 年度中に策定を行います。令和 2 年度からは新型コロナウイルス感染症拡大により市民生活が大きく影響を受け、集団活動やイベント開催の制限、オンライン会議やテレワークの普及等の働き方改革など、社会情勢が大きく変化しました。

これらの変化を踏まえ、中期基本計画期間において佐倉市のまちづくりに何が必要となるか、市民の皆さまに共に考え、今後の市政に活かしていくことを目的に、市民意見交換会を開催しました。

### ■実施日時・会場

参加希望者に会場（佐倉・志津）を選択いただき、参加いただきました。

（各会場の実施内容は同じです。）

#### 佐倉地区：令和 5 年 1 月 22 日（日） 9:30～12:10

○佐倉市役所社会福祉センター 3 階中会議室

#### 志津地区：令和 5 年 2 月 18 日（土） 14:00～16:30

○志津コミュニティセンター 2 階大会議室

### ■参加人数

（単位：人）

	参加人数	性別		年代別			
		男	女	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
佐倉	16	9	7	1	3	10	2
志津	13	10	3	2	3	7	1
計	29	19	10	3	6	17	3

## 【 ワークショップの手法 】

参加いただいた市民の皆さまを、次に掲げる市政のテーマごとのグループに分け、「**市政の課題**」「**課題への対応策**」について、ワークショップ方式で意見交換を行いました。

- ①子育て・教育
- ②福祉・健康づくり
- ③住環境
- ④環境保全
- ⑤農業・商工業
- ⑥その他

### ■ ワークショップの基本的な流れ

#### ① カード記入

与えられたテーマについて、自分の意見、思いをカード（付せん）に記入します。  
記述された内容について、現在実現されていないことや、自分だけでは実現できないことについては目印をつけます。

#### ② カード並べ

グループごとに、みんなが書いたカードを模造紙上に並べ、同じような内容のものを集めたり、全体の関係性を話し合ったりしながら、分類・とりまとめ方法を考えます。

#### ③ 成果のとりまとめ

色マジックなどを活用しながら、分類したカード群に見出し（タイトル）をつけたり、補足説明を書いたりして、みんなの意見を模造紙上で整理し、とりまとめ、最後にグループごとに発表します。

## 【 当日の実施内容 】

テーマ	内 容
佐倉市のまちづくりにおける課題と対応策について	① 開会
	② 担当課あいさつ（市の状況説明）
	③ ワークショップの進行説明
	④ 自己紹介 4 マスに区切った用紙に、自分を紹介するキーワードを記入したうえで、自己紹介を行う
	⑤ カード記入 各テーマの「市政の課題」
	⑥ カード読み上げ、自由討論
	⑦ カード記入「課題への対応策」、取りまとめ
	⑧ 発表
	⑨ まとめ、閉会あいさつ



## 意見要旨

※以下の取りまとめにおいては、付せんに書いていただいた内容や発表を、趣旨を踏まえ適宜要約しているため、実際の記述・発言とは若干異なります。

## 【佐倉会場】

### A 班 子育て・教育

#### 主な意見（発表内容）

##### ●子育て支援

・・・保育園の待機児童が0であったり、子ども食堂が市内にたくさんあるなど、良い点がいっぱいある。その一方、子どもの遊び場や、病児保育を実施しているところが少なく、増やしてほしいと思う。また、取り残される子どもがいないように、裕福でない家庭の学費支援や、子どもの医療費無償化の年齢拡大等を行ってほしい。

##### ●教育

・・・自校式給食は良い取組みで、継続して地産地消を進めてほしい。また、タブレットの配置など教育もデジタル化進んでいるが、wifi スポットやコラボサクラのような施設を増やし、佐倉市独自のデジタル教育の実現を目指してほしい。また、部活動のスポーツをもっと盛んにし、他市のように部活を活用したブランディングを図ることも考えられる。また、教育現場で一般人をもっと活用してほしい。大人の再教育の場を作り、生きがいづくりにもつながる。企業とのタイアップも面白いと思う。



#### カードその他意見

- ・婚活・・・若い世帯、子育て世帯を増やして
- ・障がい者が住みやすい街づくりを



## B 班 福祉・健康づくり

### 主な意見（発表内容）

#### ●健康長寿のために「最期まで噛んで食べること」が大切。

…単に寿命ではなく、健康寿命が重要であり、「最期まで噛んで食べる」佐倉市となるために、「住民」「医療」「介護」「行政」の関係者がフラットな形で話し合い、活動するプロジェクトを提案する。内容としては、口腔、咀嚼等々の機能を高めるセルフケアの啓蒙、食支援に関する医療・介護者への技術育成等を行う。

### カードその他意見

#### ★健康

- ・ラジオ体操をもっと皆でやる
- ・65歳以上に健康管理用の腕時計（スマートウォッチ）の貸与をし、健康づくりのためのデータ収集・解析を行う

#### ★生きがい

- ・生きがいを作って元気なお年寄りに働いていただく
- ・シルバー人材をもっと活用できるようにしてほしい

#### ★医療費

- ・中学生までの医療費をただにしてほしい

#### ★体育施設

- ・体育館の利用者が少ないので、周辺を整備し、利用者を増やすべき

#### ★その他

- ・福祉にお金をかけ過ぎ



## C 班 住環境

### 主な意見（発表内容）

#### ●全体として魅力あるまちに

…佐倉は自然・文化・歴史と各々よい部分がたくさんある。ただ、現状それらがばらばらなので、有機的に組み合わせることで、全体として魅力あるまちを目指す。

#### ●交通

…JR を越える陸橋が2つしかないなど、所々で慢性的な渋滞が起きている。対策として、陸橋を3本にする、土地提供者にインセンティブを与える、パークアンドライドを進める等。

#### ●防災・防犯

…災害時に備え、大きく育ちすぎた街路樹(クスノキ)を全面伐採するのが望ましい。災害が起こった際、非常に危険である。防犯対策として、カメラ等のITを導入するとともに、ごみの処理方法をはじめ、日本人と外国人の人との意思疎通が求められる。また、小中学校にあるマンホールトイレを住宅密集地にも設ける。

#### ●人口増

…スタートアップ企業を誘致するとともに、その立ち上げに貢献する。例として、ユーカリが丘にあるコラボサクラのような施設を他地区に設ける。また、IT導入やリモートワークへの支援を行う。

#### ●活性化

…歴史のまちであることをアピールするため、シンボルとなる城をつくる。公共施設を JR 付近に設け、拠点とする。城址公園等の入りになるものを全体としてアピールする。

#### ●入るを増やし、出るを減らす

- …基本的には入るを増やし、出るを減らす。そのために人とお金を投資する。これらの取組は、住民と市のどちらか一方がやるのではなく、両者でやる。



#### カードその他意見

#### ※下線が対策

#### ★交通

- ・寺崎付近の渋滞（陸橋増）
- ・各店舗に引き込み線を設けさせる
- ・二車線化の促進
- ・車道・歩道の区分が配慮不足
- ・道路整備、ガタガタな道
- ・道路渋滞の緩和
- ・通勤時の交通量配慮不足
- ・市営駐車場の不足
- ・4月のチューリップ祭りの渋滞緩和
- ・歩きたくなる快適空間
- ・小中学校近くの交通安全

#### ★防災・防犯

- ・防災・防犯のために誰でも安心なまち
- ・印旛沼治水の整備により、洪水の防止
- ・マンホールトイレを増やしてほしい
- ・防犯に関するIT導入の遅れ（カメラ、街路灯）
- ・日本人と外国人との会話増
- ・工業団地と住宅地との意見交換
- ・消防団の費用削減反対
- ・ごみ収集所の整備、補助（貢献者への配慮）
- ・新しい地域住民のごみ分別に対する価値観の違い
- ・収集所等へのカメラ設置（個人宅が写らないよう配慮）
- ・山王一丁目の外灯の本数をもっと付けてほしい（暗で、被害がたくさんあった）
- ・山王一丁目、動物病院の側に「赤信号」を付けてほしい（事故けっこうある）
- ・田舎な感じを観光に来る人が多い→PRしましょう

#### ★人口増

- ・市外の方が住みたくなる施策の充実（補助金（住宅・子育て・医療））
- ・子育て世代流入
- ・リフォーム補助のアピール
- ・若年層の増加に向けた対策
- ・ベンチャー企業の誘致

・広報でのアピール ・リモートワーク、ネットワーク整備

### ★活性化

- ・歴史（佐倉）をもっとアピールする ・歴史ポイントルート ・観光の目玉（シンボル）の作成→城
- ・空き家対策 ・空き家の活用、古民家、企画タイアップ
- ・活気のある通り、活気のない通り→活性化のための方策
- ・JR 佐倉駅のコア化（空きビルの有効活用） ・京成沿線と JR 沿線での公共施設の整備の差
- ・駅周辺の整備 ・上下水道完備（市街化調整区域内の整備）
- ・城址公園の整備（木がうっそうとしすぎ） ・国有地の樹木伐採管理
- ・観光資源が少ない、高橋真琴美術館つくってほしい、観光店を集中してほしい、ルパン三世
- ・マイクロツーリズム、穴場 ・音楽ホール、舞台小さい

### ★その他

- ・動物を大切にできる ・ボランティアの推進



## D 班 環境保全

### 主な意見（発表内容）

#### ●印旛沼の環境保全

・・・水質汚染や釣りルアーの廃棄などの問題があるが、美化を徹底して、観光産業につなげてほしい。そのためには、ゴミ拾いを年に数回、定期的を実施したり、イベントを実施して TV 等で取り上げられ、市民意識に訴える取組みが必要ではないか。また、現状の担い手は高齢者が多いが、若い世代に関心を持ってもらい、参加してもらうことが重要となるのではないか。

### カードその他意見

#### ★防災

・災害の少ないまちづくり

#### ★道の駅

・ローラスライダースができる設備があると良い

#### ★耕作放棄地

・コンピューター制御による農業の誘致により、休耕農地の活性化や農業人口の増加を図る。

#### ★地元からの要望

・道路など地区からの要望は自治会を通して市へ行うものが多いが、自治会の加入率が低下する中、自治会に加入していない者は要望を行うことができず、門戸が狭い。



## 【志津会場】

### A 班 福祉・健康づくり（子育て支援含む）

#### 主な意見（発表内容）

##### ●介護

…高齢者の増加により、入所する施設の不足や、在宅での老老介護などの問題が生じている。地域で見守る仕組みが必要。

##### ●元気な高齢者

…身体的に元気な高齢者は、健康体操などの健康づくりの支援、シルバー人材センター等による人材の活用、生きがいづくり支援が必要。

##### ●移動支援、買い物支援

…免許返納等により、移動支援や買い物支援が必要な高齢者が増えている。市でもコミュニティバスを運営してくれているが、乗客が少ない。路線を維持していくためには、一層の広報や、どのような形態であれば利用しやすいか市民からの意見聴取、民間企業のサービスとの連携が必要ではないか。

##### ●障害者支援

…佐倉市は他市と比較し、障害児の受入れや支援は力を入れており、いいと思う。一方、障害者の雇用はあまり進んでいないので、力を入れてほしい。

##### ●成年後見

…他市に先駆けて成年後見人の育成講座を実施するなど取り組んでいるが、その後の発展が見られていない印象。民間成年後見人の需要は高まっており、育成講座の実施や、広報による制度周知等の対応が必要。

##### ●ボランティア

…新型コロナウイルス感染症の拡大によりボランティアの活動が制限され、担い手不足が進んでいる。若い世代が加わる仕組みや、団体への支援が必要。

##### ●子育て支援

…色々な子育て相談窓口があるが、あまり知られていないのではないかと。一層の周知が必要。子ども向けの病児保育ができる施設が増えてほしい。ファミリーサポートセンターの活用も有効。

##### ●通学路

…他市で通学路における事故があった。見守りを強化してほしい。



#### カードその他意見

##### ★異文化交流

・ボランティアではなく賃金を支払っており、他市より進んでいる。良いところなので、伸ばしてほしい。

##### ★病院

・発熱外来の受入医院が少なく、病気の際に探すのが大変。

##### ★その他

- ・市内の地域による差が激しい。全体を支えるか、人口が多い地区を支えるか、という問題がある。
- ・健康体操は女性ばかりで、男性が参加しづらい。男性参加しやすいものもあると良い。

## B 班 住環境

#### 主な意見（発表内容）

##### ●人口減少

・・・課題として公園のトイレが少ない、水道代のアップ、歩道がでこぼこ、歩道が歩きづらい等、よいところとして子育てがしやすい等が挙げられる。中でも、人口減少が課題であり、税収が減ることにつながり、歩道の整備や医療の環境にも影響を及ぼすことが考えられる。

##### ●東京圏の大いなる田舎「佐倉」

・・・人口減少への対策として、外国人を含む市外の人を佐倉へ引っ張ってくればよい。人が来ると、まちの活性化につながり、住環境の向上にもつながる。その際、東京圏の大いなる田舎「佐倉」であることを売りにする。佐倉は大消費地（築地や豊洲を含む）である東京へ1時間、国際空港がある成田へも30分程度の場所にある。コラボサクラでリモートワークが可能であり、サラリーマンにとってもよい。このような環境の中でありつつ、田舎を堪能できるまちであることを活かす。

## ●人集めの三大要素 自然、歴史、国際化(外国人)

…佐倉で具体的にアピールできるものを深堀すると、自然、歴史、国際化(外国人)が挙げられる。人集めの三大要素と言える。これからは国際化の時代であり、その中で生き残るため、よりよい外国人に住んでもらう、働いてもらう、税金を納めてもらうことを目指す。その際に、歴史が深いことや、東京銀座のオフィス街からすぐに行ける範囲にこれだけの自然が残っている場所であることを売りにする。

## ●横串を指し、つなげる

…草ぶえの丘、サンセットヒルズ、歴史民俗博物館(歴博)に横串を指し、つなげるとともに、観光の W コア構想と連動させていく。数値目標として、外国人比率や人口1万人当たりのトイレやベンチの数といった指標を設けるのはどうか。これらは、市民と行政の両方でやることである。



### カードその他意見

#### ★自然

- ・遊歩道 (1km~10km) 、桜並木、菜の花
- ・桜 (佐倉) 街道 (城址公園のような桜はあるが、街道沿いの桜がない)
- ・グランピング ・東京市場から農業体験 (子ども) ・舟遊び ・印旛沼が汚い
- ・印旛沼を中心に開発 (核となる拠点を設ける)
- ・印旛沼のネーミング変更、仮の呼び方 (沼だとイメージが悪い)
- ・サイクリングロード、レンタサイクル (サイクリング大会) ・サイクリング道路に道の駅を

#### ★歴史

- ・イベントを商業化する (ビジネスとしてイベントをやる) ・人を集める ・イベントを広めて活かす
- ・イベントが少ない ・PR が下手 ・歩行者天国を毎週やる ・文化

#### ★国際化 (外国人)

- ・働く外国人
- ・外国人来街
- ・多様性
- ・Boarding School
- ・シリコンバレー
- ・サテライトオフィス

### ★その他

- ・文化人を呼んで、佐倉に住んでもらう
- ・マラソンはどうした
- ・新しいスポーツ（スケートボード）
- ・タワマン問題
- ・ユーカリが丘に図書館がほしい
- ・ユーカリが丘駅の南側にスーパーマーケットがない
- ・ユーカリが丘駅前のロータリーが中途半端
- ・ユーカリが丘駅北口のペDESTリアンデッキが平らではない
- ・バスの便が少ない
- ・空き家に草がぼうぼう、何とかして
- ・飲食店
- ・商業の充実
- ・地区の特性を活かせていない
- ・佐倉の花火を全国的に（屋台舟を出す）



## C 班 農業・商工業（観光含む）

### 主な意見（発表内容）

#### ● 農業

- ・農家が減少している
- ・耕作放棄地が目立つ割に市民農園は少ない
- ・AI や IT を活用した農業を誘致すべき
- ・佐倉特有の農産物がない
- ・農業を活かした街の活性化を図るべき（農業体験や貸農園などで交流人口を増やす）

#### ● 商工業

- ・働く場所が少ないため、働く世代や学生が少ない
- ・東京へのアクセスの良さ、空港が近いことを活かし、スタートアップ企業の受け入れに力をいれてはどうか
- ・働く人向けの子育て支援を充実させるべき
- ・駅前にオフィスビルを建てて企業を誘致してほしい

#### ● 観光

- ・お土産店、道の駅がない
- ・外国人の言語対応ができていない（看板、職員等）
- ・街を案内するガイドをおくべき
- ・歴史のまちと言いつつ、観光へのやる気を感じられない（アクセスが悪い、看板が見つらい、駅が閑散としすぎている）
- ・観光案内所の立地（京成佐倉）が悪く、職員の対応が悪い
- ・観光地の場所が離れているため、観光地を巡るバスが必要
- ・観光地や飲食店、ルート等が見られる観光向けのアプリを開発してほしい

### カードその他意見

- ・健康管理アプリを開発し、市民の健康維持に力を入れてほしい



## 【市民意見交換会を通じて】

今回の市民意見交換会の開会に当たり、市事務局から、佐倉市の人口減少の状況や、少子高齢化に伴い子育て支援策の充実や高齢者の見守り・生きがいづくり支援、定住人口増加のための対策が必要になることについて、ご説明しました。

ご参加された皆さまはその内容を踏まえ、それぞれ関心があるテーマについて、ご自身が日頃感じていることや、将来の佐倉市を考える上で何が必要かについて、熱心に議論をいただきました。世代も様々な皆さまにご参加いただきましたが、皆それぞれに佐倉市に愛着を持ち、その上で、より暮らしやすい街となるために少しでも役に立てれば、という温かいご意見を多くいただきました。

議論のテーマとして「子育て・教育」「福祉・健康づくり」「住環境」「環境保全」「農業・商工業」を掲げ、それぞれの課題及び対応策について、ご意見をいただきました。

「子育て・教育」については、保育園の待機児童対策や自校式給食に力を入れていることなど、良いところを評価する意見があった一方、子どもの遊び場や病児保育を実施しているところが少ないとの課題が挙げられました。また、学費の支援や、医療費無償化の年齢拡大等の経済的な支援を要望する意見や、通学路の安全確保、デジタル教育の充実などについて意見が寄せられました。

「福祉・健康づくり」については、高齢者の移動支援、買い物支援が必要であることや、ボランティアの担い手が不足していること、高齢者の入所施設が不足していることなどが課題として挙げられました。その対応としては、コミュニティバスの普及や民間企業との連携による買い物支援、地域による高齢者の見守りが必要であるとの意見がありました。また、健康づくりのために、「最期まで噛んで食べる」ためのプロジェクトの実施や、健康管理アプリの活用等について提案がありました。

「住環境」については、空き家の増加や、市内道路での慢性的な渋滞の発生、JR 佐倉駅周辺の活性化等の課題が挙げられました。人口減少に対応するための人口増加施策として、住宅等の補助金の拡充や、外国人の移住受入れによる地域活性化についても意見が寄せられました。

「環境保全」については、印旛沼の水質汚染や、美化活動の担い手の高齢化が課題として挙げられました。水質改善やゴミ拾い等の美化を徹底して観光産業につなげてほしいという意見や、イベント等により若い世代に印旛沼に愛着をもってもらい、市民意識に訴えることが必要ではないかとの意見がありました。

「農業・商工業」については、農家が減少する中で耕作放棄地が増加している、佐倉市特産の農産物が少ない、働く場所が少ない等の課題が挙げられました。農業分野の対策としては、AI や IT を活用した農業の導入や、農業体験を通じて都内からの交流人口を増やす、などの意見がありました。また、商工業の分野では、東京圏と空港双方へのアクセスの良さをアピールした企業誘致や、シェアオフィス、テレワーク等の環境整備が必要との意見が寄せられました。

また、「その他」の分野として、主に観光面について、観光施設がそれぞれ離れておりアクセスが悪いことやお土産店がないこと、外国人向けの言語案内ができていないことなどが課題とされました。これらに対し、観光施設をつなぐバスを運行する、歴史のまちであることをアピールするシンボルを作る、観光アプリの開発等の提案がありました。

これらの市民の皆さまから寄せられた、佐倉市の課題や、対応策等のご意見について、今後、佐倉市総合計画策定本部会や、佐倉市総合計画審議会等で検討し、第5次佐倉市総合計画中期基本計画においてご意見を反映できるよう、進めてまいります。